

平成 27 年度事業報告書

平成 28 年 5 月 31 日第 1 回通常理事会承認議決

平成 27 年度

(第 4 事業年度)

事業報告

平成 27 年 4 月 1 日から
平成 28 年 3 月 31 日まで

公益財団法人ソルフエービスクール

「平成 27 年度事業報告」目次

要 旨	・・・・・・・・・・	1
《事業活動》		
ソルフェージュによる音楽指導及び普及（公益目的事業 1）		
1. ソルフェージュに関する研究及びソルフェージュスクールの運営		
（1）ソルフェージュに関する指導等および各種楽器、声楽等の実技指導		
【週 1 回のレッスン及び年数回の特別講習】	・・・・・・・・・・	2
【月 2 回の合奏のレッスン（室内合奏団のレッスン）】	・・・・・・・・・・	2
【月 1 回のコーラス】【月 2 回のリコーダーのレッスン】	・・・・・・・・・・	3
【春のミュージックキャンプ】	・・・・・・・・・・	3
【夏季合宿】	・・・・・・・・・・	3~5
【初見大会・冬季から”楽しくアンサンブル“に改称】	・・・・・・・・・・	5
【成人対象の講習会】	・・・・・・・・・・	5
（2）ソルフェージュに関する研究、指導者育成及びその普及		
【ソルフェージュスクール演奏会】	・・・・・・・・・・	6
【前期おさらい会】【後期おさらい会】	・・・・・・・・・・	7
【研究会】	・・・・・・・・・・	7
【試演会】	・・・・・・・・・・	8
【講師によるコンサート】	・・・・・・・・・・	8~9
【海外の専門家（ソルフェージュ研究者等）との国際交流】	・・・・・・・・・・	9
（3）資料収集、出版物刊行及びホームページの充実	・・・・・・・・・・	9~10
2. 音楽ホール、練習室の貸与	・・・・・・・・・・	10
3. ソルフェージュ普及のための一般向け講習会、講演会開催	・・・・・・・・・・	10
《管理部門》		
1. 法人としての諸会議	・・・・・・・・・・	11~12
2. 公益財団法人の情報公開	・・・・・・・・・・	12
3. 業務執行体制の強化	・・・・・・・・・・	12
4. 附属明細書について	・・・・・・・・・・	12

要旨

ソルフェージュによる音楽指導及びその普及を当財団の公益目的を達成するための主たる事業とし、平成 27 年度事業計画に則り、社会人を対象とした特別な講習会「大人のための基礎音楽入門講座」(3 カ月コース)を拡充実施し、その内容の充実に努めた。

少子化の影響を受け生徒数は減少傾向にあるが、前年度に引き続き、従来から進めてきた活動内容の充実、経費の節減を努め、また、篤志家の援助もいただき、財政状況の改善に取り組んだ。その結果、生徒数はほぼ横ばいとなり、財政的にも赤字幅を縮小させることができた。

《事業活動》

ソルフェージュによる音楽指導及び普及（公益目的事業 1）

1. ソルフェージュに関する研究及びソルフェージュスクールの運営

当財団の運営するソルフェージュスクールにおいて下記の事業を行った。

（1）ソルフェージュに関する指導等及び各種楽器、声楽等の実技指導

ソルフェージュの研究の促進及び指導者育成を目的として研究者、指導者及びこれから研究、指導を目指す者、また関心のある一般を対象とした研究発表会、講習会、音楽会等を開催した。いずれも一般に公開した。なお、これら詳細な事業内容は毎月の運営委員会で具体的に決定したものを実施した。

当法人が開発したソルフェージュエッセツトやリズムカード及び以前フランスで使われていた教本を翻訳・復元した教材等を用い、ソルフェージュスクールカリキュラムに沿って、具体的にリズム・拍・音程を習得させ、読譜力・視唱力・聴音力を身に付けさせた。それに器楽、声楽等の実技指導及び年数回の特別講習会を加え、音楽文化の理解を深めさせつつ実技を習得させた。

【週 1 回のレッスン及び年数回の特別講習】 一般対象 受講生のべ 758 名／年

1 学期 4 月 7 日（火）～7 月 22 日（水）

2 学期 9 月 8 日（火）～12 月 22 日（火）

3 学期 1 月 12 日（火）～3 月 24 日（木）

特別講習 8 月 30 日（日）及び 8 月 31 日（月）

* レッスン及び特別講習の曜日、時間は月曜日を除く週 6 日の中から生徒と講師が相談して決め、原則として、週 1 回のレッスンとし、年間合計で 40 回プラス特別講習 1 回を実施した。（水曜日コースは 39 回）

* 受講費は別途入室案内に公開した。

【月 2 回の合奏のレッスン（室内合奏団のレッスン）】 一般対象

受講生のべ 107 名／年

* 成人受講生主体で月二回の日曜日、弦楽合奏のレッスンと小グループによる室内楽のレッスンを行った。

* 原則として月 2 回とし年間合計で 22 回を実施した。

* 受講費は別途入室案内に公開した。

【月 1 回のコーラスのレッスン】 一般対象 受講生のべ 225 名/年

*成人受講生主体で月一回土曜日に行った。

*受講費は別途入室案内に公開した。

【月 2 回のリコーダーのレッスン】 一般対象 受講生のべ 24 名/年

*成人受講生主体で月 2 回火曜日あるいは木曜日に行った。

*受講生は一般から広く募集。受講費は別途入室案内に公開した。

【春のミュージックキャンプ】 一般対象 受講生 13 名

4 月 4 日（土）、4 月 5 日（日）2 日間 当法人ホール及び教室

普段の個人レッスンではなかなか取り組めないアンサンブルの経験を積むための 2 日間の講座で、受講生で組まれた様々なグループでいろいろな曲を勉強した。リコーダー、クラリネット、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ及びピアノとそれぞれにアンサンブルの勉強をし、二日目の最後に発表会コンサートを開き、成果を披露した。内容の充実したキャンプであった。

【夏季合宿】 一般対象

8 月 7 日（金）～ 10 日（月）3 泊 4 日 白馬・あぜくら山荘 受講者 15 名

今回はじめて一般のペンションを借り切って開催した。受講生は 15 名（フルート 4、ヴァイオリン 5、ヴィオラ 2、チェロ 3、声楽 1）、年代別では中学生 2 名、高校生 2 名、大学生 4 名、社会人 7 名であった。特別講師の亀井由紀子先生を迎え、講師は全 8 名であった。

■カリキュラム

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
8/7 (金)	現地集合			開校式	レッスン			夕食	自由練習						
8/8 (土)	朝食	レッスン	昼食	レッスン			夕食	自由練習							
8/9 (日)	朝食	レッスン	昼食	レッスン			夕食	自由練習							
8/10(月)	朝食	ゲネプロ～ミニコンサート		昼食	閉校式・現地解散										

■講師 (8名)

- ・弦楽指導 亀井由紀子 (Vn 特別講師) 林 徹也 (Vn, Va) 妹尾美紀子 (Vn), 吉村隆子 (Vc)
- ・管楽指導 山崎孝子 (Fl), 古澤裕治 (Cl)
- ・ピアノ指導 江原陽子 (兼 歌指導) 込山今日子

■内容

♪レッスン

同じレベルの受講生によるクラスを編成し、クラスごとに1時間単位のレッスンを3~4回行った。弦楽四重奏、フルート四重奏、などの小編成のアンサンブルに加え、弦楽合奏、管楽アンサンブル、リコーダーアンサンブルなど、さまざまな編成を経験してもらった。とくにヴィヴァルディの協奏曲「四季」の中から「冬」を集中的に練習した

	曲 目	編 成
1	モーツァルト 弦楽四重奏曲 K.157	2Vn, Va, Vc
2	サマルティニー ソナタ ヘ長調	2Fl & Bc
3	C.P.E. バッハ トリオソナタ ニ短調	2Fl & Bc
4	フランク 弦楽四重奏曲	2Vn, Va, Vc
5	ベートーヴェン 弦楽四重奏曲 Op.130	2Vn, Va, Vc
6	モーツァルト Fl 四重奏曲 ト長調 第1楽章	Fl, Vn, Va, Vc
7	モーツァルト Fl 四重奏曲 ト長調 第2楽章	Fl, Vn, Va, Vc
8	テレマン 4本のFlのための協奏曲	Fl全員
9	ペルゴレージ 私のおこりんぼうさん	歌と弦楽
10	ヴィヴァルディ 協奏曲「四季」より「冬」	弦楽合奏
11	リコーダーアンサンブル	リコーダー

♪コンサート

成果を発表するコンサートを4日目の午前中に開催した。受講生の家族や知人、その他山荘関係者等、一般に公開し好評を博した。

<演奏プログラム>

1	テレマン	4本のFlのための協奏曲	Fl全員
2	モーツァルト	弦楽四重奏曲 K.157	2Vn Va Vc
3	サマルティニー	ソナタヘ長調	2Fl Bc
4	モーツァルト	Fl 四重奏曲ト長調第1楽章	Fl Vn Va Vc
5	モーツァルト	Fl 四重奏曲ト長調第2楽章	Fl Vn Va Vc
6	フランク	弦楽四重奏曲	2Vn Va Vc
7	C.P.E. バッハ	トリオソナタニ短調	2Fl Bc
8	ベートーヴェン	弦楽四重奏曲 Op.130	2Vn Va Vc
9	ペルゴレージ	オペラ「奥様女中」より 私のおこりんぼうさん	歌と弦楽
10	ヴィヴァルディ	協奏曲「四季」より「冬」	弦楽合奏

中学生以上を対象とした合宿で、春のミュージックキャンプより一層深く曲に取り組み、演奏発表を目標にして、2人のアンサンブルから全員による合奏まで様々な形の曲を勉強した。音楽の勉強に留まらず、相手への思い遣りなど、アンサンブル、合奏に不可欠な要素を共同生活の中で自然に身に付けられるようにプログラムを組み、合宿の成果を参加者全員で発表するコンサートを開き、一般に公開演奏した。

素晴らしい環境の中、充実した合宿であった。

【初見大会・冬季から“楽しくアンサンブル”に改称】 一般対象

夏季 7月20日(月・祝) 当法人ホール及び教室

受講生 13名

冬季 12月23日(水・祝) 同上

受講生 16名

小3以上を対象とし、初見で演奏する力を養うためのアンサンブルによる1日の講座で7月と12月の2回開催した。個々の参加者の実力に合わせて無理なく楽しく初見の体験を積むように指導者が導き、受講者それぞれに有意義な時間であった。“楽しくアンサンブル”と改称することにより、“初見”という言葉にしり込みしていた受講希望者の不安を取り除くことができ、受講者増につながった。夏季参加者は13名、冬季参加者は16名であった。

16名参加の冬季“楽しくアンサンブル”では、初見以外にあらかじめ曲を決め、各自練習を積んでからの参加としたので、譜読みにもアンサンブルにも余裕が感じられた。

【成人対象の講習会】 一般対象

「大人のための基礎音楽入門講座」3ヶ月コースのカリキュラムを組み、春季(5/13～7/15)受講生2名・秋季(10/14～12/16 10回)受講生5名の2回開催した。

春季は前年秋季に引き続き第2回目の初級講座として「拍」の大切さを、秋季は、基礎音楽講座Ⅱ中級編として「音程よく楽譜を読み、声を合わせる」ことを教授した。

さらに、コダーイの教本を使い、声と声を重ねると倍音が聴こえ、より豊かな響きになることを実感してもらった。

「音楽は敷居の高いものではなく、歩くことや生活の中にあるものだ」と気づくこと、また一人よりもアンサンブルで奏でた方が喜びが倍増することなどを受講生全員に体験してもらうことができたことが大きな成果であった。

(2) ソルフェージュに関する研究、指導者育成及びその普及

【ソルフェージュスクール演奏会 6月21日(日) 日本橋公会堂】

ソルフェージュスクールの受講生全員が、リトミック、室内楽、器楽合奏、弦楽合奏、合唱等のいずれかに出演し、当スクールが重視しているアンサンブルの体験を楽しむ機会となった。 幼児のソルフェージュ及びリトミッククラスは、ハーモニー（和音）に挑戦し、音を重ねる気持ちよさを学び、讃美歌を二声で歌った。 器楽合奏ではリズムの変化で音色が変わることを楽しみ、弦楽合奏ではなかなか聴く機会が少ないドヴォルザークの作品を演奏するなど、具体的にソルフェージュスクールの教育のあり方を提示することで、一般の来場者に当スクールの音楽教育方針を理解してもらう重要な機会であった。 受講生には聴衆前で発表するというプロセスを十分に学習させることができた。

<プログラム>

1. ピアノ連弾

- A 夜の静けさの中で 山賊の踊り (ヤニナ・ガルシチャ) (受講生2名)
- B 「ドリー」より 子守歌 Mi-a-ou ドリーの庭 スペインの踊り (フォーレ) (受講生2名)

2. 室内楽

- A メヌエット (ハイドン) (受講生2名)
- B アレグロ メヌエット (モーツァルト) (受講生2名)
- C 弦楽四重奏曲 第7番 Op.59-1 第一楽章Allegro (ベートーヴェン) (受講生4名)

3. リトミック&うた

フレールジャック (フランスの子どもの歌) 空の鳥は (ミュラー) (受講生19名)

4. 器楽合奏 大きな古時計 (ワーグ) (受講生32名)

リコーダー (4名)、フルート (1名)、クラリネット (1名)、ヴァイオリン (8名)、チェロ (2名)、ピアノ (1名)、スネアドラム (1名) トライアングル (1名)、シンバル (1名)、カスタネット (3名)、タンバリン (1名)、鉄琴 (2名)、木琴 (1名)、水笛 (2名) ガリガリ (1名)、ウッドブロック (1名)、バスドラム (1名)

5. 弦楽合奏 「糸杉」より (ドヴォルザーク)

- 1. あなたによせる私の愛は
- 2. 死は多くの人々の胸に
- 3. 優しいひとみが私に注がれるとき
- 12. おまえは何故私の歌はそんなに激しいのかとたずねる

ヴァイオリン (6名)、ヴィオラ (3名)、チェロ (3名)

6. 合唱 「キャロルの祭典」より (ブリテン)

- I Procession ~入堂~
- II Wolcum Yole! ~来たれ 喜びよ!~
- VI This liittle Babe ~この小さな嬰兒は~
- X Deo Gracias~神に感謝せよ~

コーラス受講生及びOB 父兄 (20名) 及び器楽合奏・弦楽合奏出演者+ピアノ1名

【前期おさらい会 10月18日(日)当法人ホール】 出演生徒14名+室内合奏団

【後期おさらい会 2016年3月21日(月・祝)当法人ホール】 出演生徒20名

10月と3月の前後期に分けて開く発表会で、器楽、声楽を学ぶソルフェージュスクールの受講生の演奏を一般公開し、本校での教育の特徴を見てもらった。

器楽、声楽を学んでいる受講生(主に個人レッスン)は少なくとも年一回は人前で演奏披露することで、普段とは違う学習と練習を体験する大切な場であり、また生徒同士、父兄、教師にとっては個人レッスンの進捗状況を知る良い機会となった。

前期は18名参加、後期は20名の参加で、出演受講者それぞれに進歩があり、また年齢とプログラムがいろいろで楽しい演奏であった。

【研究会 5月22日(金) 2016年2月10日(水) 当法人ホール及び教室】

ソルフェージュ、器楽の教授方法、教本の使い方や生徒への対応の仕方など、時々テーマを設けて講師一同が意見の交換をしてレッスンの質の向上を目指すための研究会として一般に公開し年2回開いた。

5月22日：テーマ「ベートーベンのヴァイオリンのためのソナタ第5番
“スプリング”の演奏に関する考察／講師 林徹也

作曲当時のピアノと現在のコンサートグランドピアノの違いを考慮しないとヴァイオリンの音量とバランスが取れなくなること、また *sf* が連続する場合はすべてを大きな音にすると *sf* の意味を失いきたない印象を与えるし、奏者には疲労をもたらすだけであるので注意が必要であること、テーマの奏法としては、細かい音符にとらわれず4小節のフレーズを流れるように奏し、小節が進むにつれ展開させることに留意すべきであることなどが解説された。

2月10日：テーマ「大人のための音楽基礎入門講座について」／講師 吉村隆子

当スクールが子供のために教える内容と同じものを教えるので、リズムカード、ソルフェージュエッセツ、ダンノーゼルを教材とし、その他にシャセバン、Petites Phrases、よく知られた歌の楽譜などを使用している。

音取りや読譜が苦にならなくなる、自分が歌っているまたは演奏しているリズムと拍の関係が理解できる、合唱や合奏を楽しめるようになる、音楽を聴くだけでなく演奏する楽しみを知る、音楽を通して心や頭、身体を開放する等を目標とする。

タイトルをもっと「やりたい!!」と思うもの、例えば「楽しく学ぶ音楽の基礎」などにして参加者増加を図る。

【試演会 11月29日(日) 当法人ホール】 担当 大村明子

講師有志等の独奏或いはアンサンブルによる演奏を聴き合い、日頃教える立場にある者がお互いに具体例をもって意見を述べ合い良い研修の機会となった。

(演奏曲) Mozart Violin Sonata KV378

Allegro moderato, Andantino sostenuto e cantabile

奏者: Vn 妹尾美紀子 kla 大村明子

Mozart Piano Trio KV502

Allegro, Larghetto, Allegretto

奏者: Vn 妹尾美紀子 Vc 吉村隆子 kla 水野紀子

【講師によるコンサート】

* 春のコンサート 4月29日(水・祝) 当法人ホール (有料) 入場者60名

フルート、クラリネット、弦楽及びピアノによるいろいろな組み合わせによるアンサンブルの演奏を楽しんでもらった。

<プログラム>

- ヴィヴァルディ : 合奏協奏曲集“調和の靈感”より 作品3-10 口短調 (室内合奏団)
ガーデ : 幻想小曲集 (Cl 古澤裕治 Pf 込山今日子)
ベートーヴェン : セレナーデ ニ長調 作品25 (Fl 山崎孝子 Vn 指原桃子 Va 林徹也)
バーバー : “思い出” 作品28より ためらいのタンゴ・ギャロップ (Pf 林さち子、込山今日子)
ピアソラ : オブリヴィオン (Cl 古澤裕治 Pf 込山今日子、林さち子)
ピアソラ : リベルタンゴ (Pf 込山今日子、林さち子)

* クリスマスコンサート 12月20日(日) 当法人ホール (有料) 入場者85名

室内合奏曲、ピアノ三重奏曲、ヴィオラとピアノの二重奏曲、歌及びコーラスでクリスマスの雰囲気盛り上げ、3階ホールから溢れんばかりの入場者に満足していただけるコンサートであった。

<プログラム>

- ヘンデル : コンチェルトグロッソ Op. 6-7 (室内合奏団)
モーツァルト : ピアノトリオ KV502 (Pf 水野紀子 Vn 妹尾美紀子 Vc 吉村隆子)
シューマン : アダージョとアレグロ Op. 70 (Va 林徹也 Pf 林さち子)
シューマン : 献呈 (Sop 江原陽子 Pf 込山今日子)
ブラームス : 眠りの精 (Sop 江原陽子 Pf 込山今日子)
クリスマスメドレー (Sop 江原陽子 Vn 妹尾美紀子 Pf 込山今日子)
スタンフォード : The Blue Bird (レ・グルヌイユ/コーラス)
イギリス民謡 : We wish you a Merry Christmas (レ・グルヌイユ/コーラス)
信長貴富(編曲) : 組曲 虹と雪のバラード (レ・グルヌイユ/コーラス Pf 込山今日子)

(ふたつのコンサートの演奏講師等)

江原陽子 Sop (歌: ソプラノ)	東京芸術大学卒業 本校出身
込山今日子 Pf (ピアノ)	桐朋学園大学短期大学部卒業
妹尾美紀子 Vn (ヴァイオリン)	桐朋学園大学卒業
林徹也 Va (ヴィオラ)	元シュトゥットガルト室内管弦楽団首席ヴァイオリン奏者 本校出身
林さち子 Pf (ピアノ)	ホルン大学卒業 イェーナ大学大学院修士課程修了 本校出身
古澤裕治 Cl (クラリネット)	桐朋学園大学及びブルーアン音楽院卒業
水野紀子 Pf (ピアノ)	桐朋学園及びデトモルト国立音楽大学卒業
山崎孝子 Fl (フルート)	東京音楽大学卒業
吉村隆子 Vc (チェロ)	ジョージ・ナイクルグ (George Neikrug) に師事 本校出身
ソルフェージュスクール室内合奏団	指導: 林徹也
レ・グルヌイユ	指導: 江原陽子

【海外の専門家 (ソルフェージュ研究者等) との国際交流】 一般対象 (原則として有料)

夏季 8 月 6 日 (木) に、現在アメリカで活躍中のヴァイオリニスト・亀井由紀子氏を講師として招き、公開レッスンを行った。ヴァイオリン 2 名、ピアノ・ヴァイオリン・ヴィオラのトリオ 1 組が受講し、音色の美しさや音楽を愛する心について教授していただいた。聴講生も 10 名に上り、熱気あふれる公開レッスンであった。

(3) 資料収集、出版物刊行及びホームページの充実

ソルフェージュ教育に必要な図書、楽譜、楽器を購入すると共にソルフェージュの普及のため研究成果及び教育内容などの出版を行う準備を継続した。また授業、事業活動及び法人運営資料等についてはホームページに掲載する。ホームページの内容充実と更新を行った。

① ソルフェージュ教育に必要な図書、楽譜等の取得

- Solfège des Solfèges (Danhauser) avec Piano 3D (購入)
- Solfège des Solfèges (Danhauser) sans Piano 3D (購入)
- Choral Method Bicinia Hungarica I、II、III、IV (Kodaly) (寄贈)
- Two-Part Exercises 33,44,55,66,77 (Kodaly) (寄贈)
- Fifteen Two-Part Exercises (Kodaly) (寄贈)
- Let us sing correctly (Kodaly) (寄贈)
- Fifty nursery songs (Kodaly) (寄贈)
- Reading Exercises 333 (Kodaly) (寄贈)

- ② 機関誌「ソルフェージュスクール新聞」の発行
年 2 回（10 月と 3 月）800 部発行し一般に無料配布した。
- ③ ソルフェージュ指導楽譜の発行（教材として使用し、一般に実費配布）
シャセバン 1 ￥500－（税抜）
シャセバン 2 ￥400－（税抜）
シャセバン 3 ￥400－（税抜）
- ④ ソルフェージュ教育の理念を著した冊子の発行（一般に実費配布）
当財団の設立者たちがソルフェージュ教育の理念について書き残した文書を冊子として発行し、一般への普及を図るために、文書類の整理を昨年度に引き続き行った。
- ⑤ ホームページの充実
ホームページを随時更新し、デザインの工夫も加えて当スクールの周知を図った。
役員名簿、定款、役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程、各事業報告書及び収支計算書・貸借対照表他並びに各事業計画書及び収支予算書を公開した。
- ⑥ 他のデータシステムとの連携
NOPODAS（非営利法人データシステム）、文部科学省関係法人名鑑及び音楽教育関連データシステム等の登録更新をして当財団の周知向上を図った。

2. 音楽ホール、練習室の貸与 貸与件数 70 件/年

当財団の所有するホール及びピアノの設置された教室（練習室）を、当財団が使用していない時間に、当財団の事業及び公益目的に合致する者に低廉な対価で貸与した。

とくに、音楽学校受験生の使用費用は一般の 2 割引きとして活用を促した。

* 随時受付、費用は別途料金表に公開した。

3. ソルフェージュ普及のための一般向け講習会、講演会開催 一般対象（原則として無料）

【合奏及び室内楽演奏法】 原則として月 1 回 当法人ホール

室内楽授業を、原則として月 1 回、一般に無料聴講できるように公開し、合奏及び室内楽の演奏法を習得してもらうと同時にソルフェージュ教育の成果を実感してもらった。

【講習会・講演会】

諸般の事情により、今年度は行わなかった。

《 管理部門 》

1. 法人としての諸会議

定款の規定に基づき、評議員会及び理事会等を開催した。

定時評議員会は 2015 年 6 月に 1 回、通常理事会は 2015 年 5 月及び 2016 年 2 月の 2 回、それぞれ開催した。

【平成 27 年 5 月 19 日 決算監査】

開催場所 : 当財団 2 階会議室
出席等 : 監事 2 名出席

【平成 27 年 5 月 26 日 平成 27 年度 第 1 回通常理事会】

開催方法 : 通常招集
開催場所 : 当財団 2 階会議室
決議事項 : 1. 平成 26 年度事業報告及び決算の承認決議
2. 平成 26 年度事業報告書等に係る提出書類の承認決議
3. 「資産管理運用規則」の変更の承認決議
4. 平成 27 年度定時評議員会の招集決議
報告事項 : 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告
出席等 : 理事 7 名、監事 2 名出席 評議員 1 名同席

【平成 27 年 6 月 18 日 平成 27 年度 臨時理事会】

開催方法 : 通常招集
開催場所 : 当財団 3 階ホール
決議事項 : 1. 「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程」の改正に伴う非常勤理事、監事及び評議員の交通費の設定について
2. 「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程」の改正に伴う附則の記載内容の変更について
出席等 : 理事 6 名、監事 2 名出席 評議員 6 名同席

【平成 27 年 6 月 18 日 平成 27 年度 定時評議員会】

開催方法 : 通常招集
開催場所 : 当財団 3 階ホール
決議事項 : 1. 平成 26 年度事業報告及び決算の承認決議
2. 「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程」改正の承認決議
報告事項 : 1. 平成 27 年度事業計画及び収支予算の件
2. 資産の管理運用状況の報告
出席等 : 評議員 6 名、監事 2 名出席 理事 6 名同席

【平成 28 年 2 月 22 日 平成 27 年度 第 2 回通常理事会】

開催方法 : 通常招集

開催場所 : 当財団 2 階会議室

決議事項 : 1. 平成 28 年度事業計画及び収支予算書等の承認決議
2. 平成 27 年度基本財産一部変更の承認決議

出席等 : 理事 7 名、監事 2 名出席 評議員 1 名同席

報告事項 : 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告

2. 公益財団法人の情報公開

現在公開中のものに加え、平成 27 年度事業報告書及び計算書類等、平成 28 年度事業計画書及び収支予算書等を web サイトで情報公開した。

3. 業務の遂行

定款及び諸規程に基づき、代表理事 2 名、業務執行理事 1 名を含め 7 理事の体制により役員、職員及び関係者のそれぞれの職務を真摯に遂行した。

運営委員（理事 4 名）が基本的に毎月 1 回運営委員会を開き、事業執行についてさまざまな角度から協議し必要事項について決定した。

原則として週一で業務会議を開き、上記運営委員会で決められた内容を、運営側と事務方との間で確認し、業務執行の進捗状況や検討事項について打ち合わせをしながら、業務を遂行した。

4. 附属明細書について

平成 27 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。